

広報

2011

2・1

No. 1577

せき



降りしきる雪の中の関市駅伝競走大会(中池公園～市街地)

TOPICS

- P 2 平成23年関市成人式
- P 4 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会
関市開催競技別ポスターコンクール表彰作品
- P 6 認知症になっても安心して暮らせるまちを
- P10 環境シンポジウム
- P15 お知らせ P19 文化会館・図書館

平成23年 関市成人式



関会場では式典の後、新成人有志でつくる成人式実行委員会による第2部が行われました。“感謝～未来への旅立ち～”をテーマに、中学校生活の思い出を映像で振り返り、参加者へのインタビューとクイズで会場は盛り上がり、最後は全員による「一本締め」で成人式を締めくくりました。



▲インタビューで抱負を語る新成人



▲成人式実行委員会の皆さん

▲▼関会場



▶関市イメージキャラクター「関*はもみん」も新成人をお祝い

▶新成人代表として決意を述べる佐藤慎也さん



1月9日、市内の各地域で成人式が開催されました。市内全域で、1032人が新成人となりました。尾藤市長らのお祝いの言葉を胸に、大人としての決意を新たにしました。



▲板取会場

会場にはスーツや羽織はかま、華やかな振袖姿の新成人が集まり、久しぶりに顔を合わせる同級生との再会を喜び合う光景が、あちこちで見られました。

関市文化会館のほか、各地域の生涯学習センターなどでも地元出身の新成人を中心に式典が行われました。



▲洞戸会場



▲上之保会場



▲武儀会場では中学校の思い出が入ったタイムカプセルが開けられました



▲武儀会場

新成人の皆さん
おめでとうございます



▲武芸川会場

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会 関市開催競技別ポスター コンクール表彰作品

照会先 関市国体推進室 ☎7755

平成24年開催の「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」に向けて、市民の皆さんが、国体への理解を深め、市民総参加の実りある大会の実現を目指す取り組みの一環として「関市開催競技別ポスター」を募集をしたところ、297点の応募をいただきました。関市実行委員会において審査し、競技別、年代別の最優秀作品、優秀作品が決定しましたので、ご紹介します。

剣道競技



関有知高3年
塚原早記さん



武芸小6年
浅野円花さん



倉知保育園
永田琴乃さん



一般の部
山田由美さん



緑ヶ丘中2年
足立爽さん



桜ヶ丘小2年
小川翔太郎さん

ライフル射撃（センター・ファイア・ピストル）競技



一般の部
田中ひかるさん



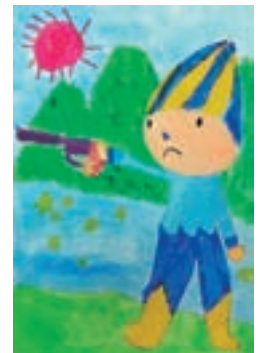
桜ヶ丘中3年
溝口万友さん



博愛小6年
水野優希さん



下有知小2年
江口翔瑛さん



武儀やまゆり東保育園
中島心さん

ラグビーフットボール競技



一般の部
田中ひかるさん



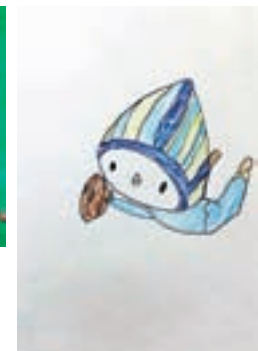
桜ヶ丘中1年
林田侑大さん



下有知小4年
木村有我さん



南ヶ丘小3年
山岡亮太さん



倉知保育園
永田琴乃さん

ゴルフ競技



一般の部
小栗宏彰さん



桜ヶ丘中1年
猪飼和佳奈さん



南ヶ丘小6年
本川直樹さん



安桜小1年
鎌田羽津紀さん



関保育園
清水裕貴さん



アーチェリー競技



一般の部
小栗宏彰さん



関有知高3年
塚原早記さん



安桜小6年
中村友香さん



下有知小1年
山田通菜さん

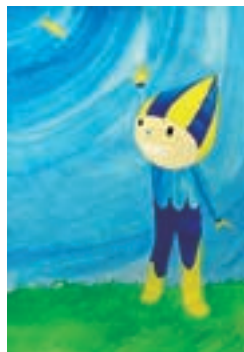


関幼稚園
村田莉緒菜さん

フライングディスク競技



一般の部
尾上由加里さん



緑ヶ丘中2年
井上裕加里さん



博愛小6年
関岡春菜さん



富野小1年
坂口明里さん



関幼稚園
古田尚理さん

優秀作品



田原小5年
坂井翔太さん



金竜小4年
若井祥穂さん



旭ヶ丘小3年
松田有央さん



金竜小1年
山田佳歩さん



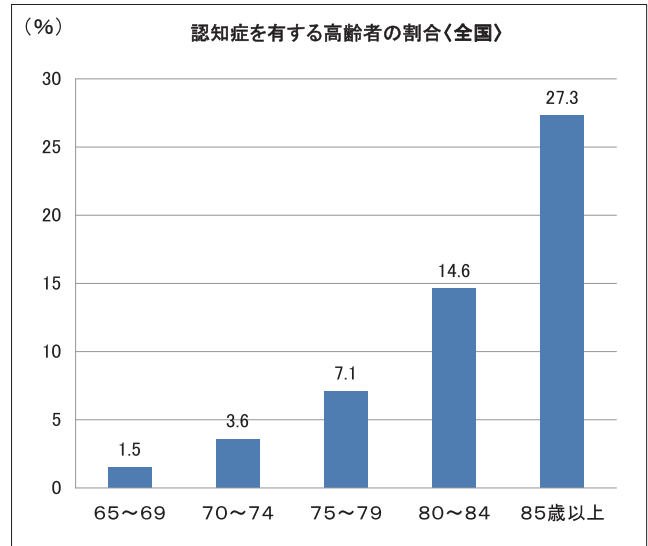
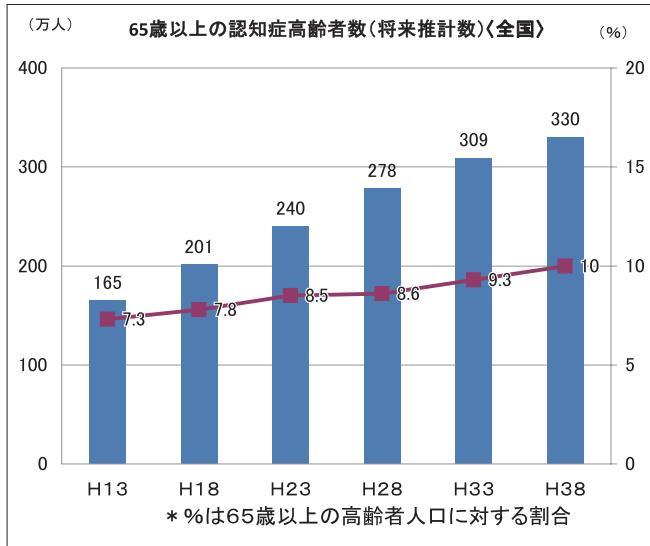
下有知保育園
江口絢羽さん



関幼稚園
内藤優奈さん

認知症になっても安心して暮らせるまちを みんなの手でつくりましょう

高齢になったときの大きな不安のひとつに「認知症」という病気があります。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。85歳以上になると4人のうち1人に認知症の症状があるといわれています。そして、その数は今後20年で倍に増えると予想されています。



<平成21年度岐阜県キャラバンメイト研修カリキュラム資料より>

●認知症の原因となる脳の病気

認知症は、さまざまな原因で脳の細胞が死滅したり、働きが悪くなったりするために起こる脳の病気です。

物忘れがひどくなったり、今までできていたことができにくくなってきて、進行してくると、日常生活に支障が出てきます。



健康な脳



アルツハイマー病の脳

脳の細胞が死んで、
脳全体が縮んでしまう



脳血管性認知症の脳

血管が詰まって、一部の
細胞が死んでしまう

<認知症サポーター養成講座標準教材より抜粋>

●認知症対策4つのポイント

ポイント1

認知症にならないために
活発な生活を心がけましょう。

日ごろから地域との交流を続け、積極的な生活を送ることが介護予防につながります。市では、脳力アップ教室や脳の健康教室など認知症予防を目的にした教室を開催しています。

ポイント2

早めの発見と対応
(適切な治療やケア)が大切です。

認知症は症状の軽い段階から適切な治療を行えば、症状を軽くしたり、進行を遅らせることができる病気です。早期に主治医と相談し、対策を取りましょう。また、適切な介護を行うことで症状が落ち着くことがあります。どのような対応がよいのかなど基本的な姿勢を早期から確認しておくことが大切です。

ポイント3

介護をひとりで抱え込まないようにしましょう。

介護は先の見通しが持てないものです。介護者がひとりで頑張り過ぎると心身が疲れきり、介護する側、される側が共倒れになってしまう心配があります。家族や親類、専門職に相談をしたり、介護者の集い(注①)に参加するなど、周囲からできるだけ多く支援を受けるようにしましょう。介護保険制度や成年後見制度などの利用についても情報を得ましょう。

ポイント4

認知症の人や家族が安心して暮らせるまちにしましょう。

認知症に対する偏見や誤解をなくし、多くの人に認知症について正しく理解してもらうことが重要です。そして、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者＝認知症サポーター(注②)や各種ボランティアによる支援活動が地域に増え、地域で支え合えるまちにしましょう。

注①《介護者の集いとは…》

地域包括支援センターでは、介護者同士が日ごろの介護の悩みや不安について話し合う座談会を行っています。

参加者からは「優しく接しないといけないとわかっていても、できないからつらい。」「いろいろな話が聞けてよかった。」「自分だけではないとわかってほっとした。」などさまざまな感想が寄せられています。

注②《認知症サポーターとは…》

認知症サポーターは特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。

地域包括支援センターなどが開催する『認知症サポーター養成講座』を受講した人が認知症サポーターとなり、認知症の人を支援します。「オレンジリング」が目印です。



オレンジリング



●認知症サポーター養成講座を受講してみませんか

「認知症サポーターの活動に興味がある、認知症のことを勉強したい」方は、地域包括支援センターまでお気軽にご相談ください。

◆養成講座の内容

*所要時間：1時間～1時間半

*10人以上のグループに対し開催

*参加費無料

*会場の設定は受講者の方でお願いします。

介護者の集いや認知症サポーター養成講座の照会、認知症に関する相談はお近くの地域包括支援センターへ

◎洞戸・板取・武芸川地区 西地域包括支援センター
☎ 0581-58-2711

◎富野・武儀・上之保地区 東地域包括支援センター
☎ 0575-49-2122

◎上記を除く市内 中央地域包括支援センター
☎ 0575-25-2988



認知症サポーター養成講座の様子

所得税と市・県民税の申告のお知らせ

申告書の作成はご自身で

◆所得税の確定申告 ⇒ 会場は「アピセ・関」

所得税確定申告会場	開設期間	時 間
アピセ・関 (関市平和通 7 丁目 5 番地 1)	2月14日(月)～3月15日(火) (土・日曜日を除く)	午前 9 時～午後 5 時

申告・納付期限は、申告所得税と贈与税が **3月15日(火)**
消費税および地方消費税が **3月31日(木)** です。

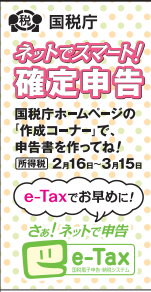
※開設期間中、関税務署(川間町)では申告書などの作成指導は行いません。(申告書の提出は受け付けます。)
また、申告に関する電話でのご質問などは、「アピセ・関」では受け付けていません。関税務署(☎ 22-2233)
へお尋ねください。(下記参照)

◆所得税の確定申告が必要な人

- ①事業(営業・農業)所得、不動産所得、雑所得(公的年金など)や一時所得などがあり、計算の結果、**所得税額が発生する人**
- ②給与の収入金額が2,000万円を超える人
- ③給与を2カ所以上から受けている人
- ④給与を1カ所から受けている人で、給与所得や退職所得以外の所得金額が20万円を超える人など

※確定申告をする人は、ご自身で所得税の申告書を作成してください。

※確定申告書は、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)から作成できます。



**確定申告は
お早めに!**

国税庁ホームページの「作成コーナー」で、申告書を作ってください。
(※期間) 2月16日～3月15日

e-Taxでお早めに!

さあ! ネットで申告

確定申告 検索

www.nta.go.jp

◆確定申告で所得税が還付される人

所得税の確定申告をする必要のないサラリーマンなどでも、次の場合は確定申告により所得税が還付される場合があります(申告者本人名義の口座番号などが必要)。

- ①住宅ローンを組んで住宅を新築、購入などをした人
- ②多額の医療費を支払った人
- ③会社を退職し、年末調整をしていない人 など

◆無料税務相談所の開設

関税務署では所得税と消費税の申告について無料税務相談所を開設します。

昨年まで市役所・市民ホールにて開設していましたが、今年から会場が「アピセ・関」となります。

○期間…2月16日(水)～28日(月)(土・日曜日を除く)

○時間…午前9時30分～午後4時

○場所…アピセ・関

照会先 関税務署 ☎ 22-2233(代表)

※税務署の代表電話は、自動音声によりご案内しています。国税に関する一般的な相談は「1」を、税務署からの照会やお尋ねは「2」を選択してください。

※なお、3月15日(火)までは、所得税、消費税、贈与税の申告に関する相談は「0」を選択してください。

要介護認定者などの税申告の各種控除
要介護認定者の「障害者控除適用」
税申告をする本人または扶養家族が障がい者に該当する場合は、障害者控除として一定金額を所得から差し引くことができます。
介護保険の要介護認定を受けている65歳以上の方で、次のいずれかに該当する方は、一部の場合を除いて、この障害者控除を受けることができます。
①身体障がい者に準ずる方
②知的障がい者に準ずる方
③常に寝たきりで、複雑な介護を要する方
※要介護認定者の障害者控除を受けるためには、市が発行する「障害者控除対象者認定書」の提示が必要ですので、該当すると思われる方は認定の申請をしてください。
おむつ代の「医療費控除」
介護保険の要介護認定を受けている方で、おむつ代の「医療費控除」を受けるのが2年目以降である場合は、一部の場合を除いて、医師が発行する「おむつ使用証明書」に代えて、市が発行する証明書により医療費控除を受けることができます。証明書の必要な方は、申請してください。

◆市・県民税の申告

⇒ 会場は「市役所、各地域事務所 ほか」

市・県民税申告会場	開設期間	時 間
市役所 1 階・市民ホール 洞 戸 事 務 所 板 取 事 務 所 武 芸 川 事 務 所 武 儀 事 務 所 上 之 保 事 務 所	2 月16日(水)～3 月15日(火) (土・日曜日を除く)	午前 8 時30分～午後 5 時15分
田原ふれあいセンター	2 月22日(火)	午前 9 時30分～午後 3 時
西 部 地 区 公 民 館	2 月24日(木)	午前 9 時30分～午後 4 時
富野ふれあいセンター	3 月 1 日(火)	午前 9 時30分～午後 3 時

◆市・県民税の申告をしなくてもよい人

- ①所得税の確定申告をする人
- ②給与所得か公的年金所得だけで、勤務先や支払者から市へ支払報告書が提出されている人

◆市・県民税の申告が必要な人

平成23年 1 月 1 日現在、関市内に住所があり、平成22年中(平成22年 1 月～12月)に所得がある人で、次に該当する人は申告してください。

- ①給与所得だけで、勤務先から市へ「給与支払報告書」の提出がされていない人(パートなど)
- ②公的年金所得だけで、公的年金の支払者から市へ「公的年金等支払報告書」が提出されていない人
- ③給与所得や公的年金所得のほか、農業・不動産・配当などの所得がある人 など

※所得税は給与所得や退職所得以外の所得が20万円以下の場合、確定申告の必要はありませんが、市・県民税の申告は必要です。

※所得証明書や課税所得証明書が必要な人などは、所得がなくても市・県民税の申告が必要です。

▷市・県民税申告書は、税務課、西部支所、各地域事務所でお渡ししています。

なお、昨年に市・県民税申告書を提出した人には、2 月上旬に申告書を送付します。

照会先 関市役所税務課 市民税係 ☎ 23-8893

◆申告に必要な書類など

- ①印鑑(朱肉を使用するもの)
- ②給与・公的年金などの「源泉徴収票」(コピーは不可)
- ③事業(営業・農業)所得や不動産所得などがあつた人は、「収支内訳書」(事前に、ご自身での作成が必要)
- ④医療費控除を受ける人は、平成22年中(平成22年 1 月～12月)に支払った医療費の領収書と「医療費の明細書(医療を受けた人ごと)」(事前に、ご自身での作成が必要)
- ⑤国民年金・生命保険料・地震保険料などの支払証明書
- ⑥国民健康保険税・介護保険料などの支払金額の分かるもの など

入場無料

みんなでつくる緑豊かな関市の環境
—里山、森林の恵みを考える—

環境シンポジウム

照会先 生活環境課 ☎ 23-7702

「第30回全国豊かな海づくり大会」から8カ月。

この大会の成功は、多くの市民の皆さんの自然環境に対する保全意識が高まる契機となりました。

関市は、面積の8割を超える山林を有しています。

この恵まれた自然から授かる恩恵や、学校現場における森林学習にスポットをあてます。

日時

2月20日(日)

午前10時～正午

場所

わかくさ・プラザ

「学習情報館・多目的ホール」



講演

テーマ

「森林バイオマスを
地域おこしに役立てる」

講師

熊崎 実さん

(筑波大学名誉教授)

プロフィール

1935年岐阜県生まれ。農林省林業試験場(現・森林総合研究所)林業経営部長、筑波大学農林学系教授、岐阜県立森林文化アカデミー学長を歴任。

現在は、筑波大学名誉教授、日本木質ペレット協会会長、国内クレジット認証委員会委員。

著書に『林業経営読本』、『地球環境と森林』、『木質バイオマス発電への期待』、『木質エネルギービジネスの展望』など。訳書に『森と人間の歴史』、『世界の森林資源』、『日本人はどのように森をつくってきたか』、『樹木学』など。

※ご来場の方に木質ペレットのサンプル、生ごみを堆肥化する「ボカシ」を差し上げます。
(ボカシは先着200人)

こどもパネルディスカッション

瀬尻小学校、武儀東小学校、洞戸中学校、武儀中学校の児童生徒がパネラーになり、体験を発表

展示コーナー

エントランスホールにて、簡単生ごみ処理方法を展示

主催
後援

関市

関市教育委員会、関市自治会連合会、
岐阜県立森林文化アカデミー

協力

環境ネットせき、NPO 法人スリーハンド

昭和40年岐阜国体の思い出を募集

平成24年ぎふ清流国体・ぎふ清流大会開催に向けて、昭和40年岐阜国体の思い出(体験談など)を募集しています。また、同国体の経験者やゆかりの品物、写真について情報をご提供ください。

【昭和40年岐阜国体の思い出を募集】

◆募集内容 昭和40年国体当時の思い出の文章(400字程度。上限1200字程度。題名を記載してください)とそれにまつわる思い出の写真 ※文章だけの応募でも可。

◆応募方法 応募用紙または任意の書式に必要事項を記入のうえ、郵送、ファクスまたはぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会ホームページの送信フォームにてお送りください。

◆必要事項 ①氏名(ふりがな) ②氏名公表の可否(公表しない場合はペンネーム) ③性別 ④生年月日

⑤現住所 ⑥電話番号

◆その他 応募された文章と写真は、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会ホームページや県広報紙「ミナモトだより」へ掲載します。

◆申込・照会先 ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会事務局(ぎふ清流国体推進局内) 〒500-8570 岐阜市数田南2-1-1 ☎058・272・8809 FAX 058・278・2604

※詳細は、ホームページ(www.gifukokutai2012.jp/kokutai/memories/)をご覧ください。

【昭和40年岐阜国体経験者および品物などの情報提供】

◆情報収集する対象

①昭和40年岐阜国体経験者で、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会のPRに協力の意向のある方(例:選手、運営に携わった方、マスゲームや大会旗リレーなどへの参加者、応援に行った方など)

②昭和40年岐阜国体ゆかりの品物および写真など(例:競技用道具、ユニホーム、パンフレット、プログラム、記念行事などで使用した品物など)

◆活用方法(予定)

①昭和40年国体経験者⇨県主催イベントなどへの出演や県が制作する印刷物での紹介など

②昭和40年国体ゆかりの物品および写真など⇨県主催イベントなどにおける展示・掲出

◆照会先 関市国体推進室(☎237755 FAX237741)



郵便等による不在者投票をご利用ください

郵便等による不在者投票は、重度の障がいがある方が郵便等で投票できる制度です。郵便等による不在者投票をするには、あらかじめ選挙管理委員会に申請をして「郵便等投票証明書」の交付を受ける必要があります。

◆郵便等による不在者投票

別表1の「障がいなどの程度」に該当する方は、郵便等による不在者投票をすることができます。

別表1

区 分	障がいなどの程度
身体障害者手帳	両下肢、体幹、移動機能
	1級または2級
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸
戦傷病者手帳	1級または3級
	免疫、肝臓
	1級から3級まで
介護保険の被保険者証	両下肢、体幹
	特別項症から第2項症まで
	心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓
	特別項症から第3項症まで
	要介護5

※身体障害者手帳、戦傷病者手帳をお持ちの方で、障がいの程度が上記に該当することを県知事などから書面で証明された方を含みます。

◆代理記載投票

郵便等による不在者投票ができる方で別表2の「障がいなどの程度」に該当する方は、あらかじめ選挙管理委員会に届け出た代理記載人(選挙権を有する者に限る)に投票に関する記載をしてもらうことができます。

別表2

区 分	障がいなどの程度
身体障害者手帳	上肢または視覚
1級	
戦傷病者手帳	上肢または視覚
特別項症から第2項症まで	

※身体障害者手帳、戦傷病者手帳をお持ちの方で、障がいの程度が上記に該当することを県知事などから書面で証明された方を含みます。

照会先 選挙管理委員会事務局 ☎23-6803 FAX23-1600

関市消防団に入りませんか！

～消防団では皆さんの
力を求めています～

入団資格

- ・市内に居住または勤務する人
- ・年齢18歳以上の人
- ・心身ともに健康な人



消防団とは

「自分たちのまちを災害から守る」という使命感のもと、火災や水害などの災害時に、地域住民のリーダーとなって幅広い活動をする、地域に密着した団体です。

消防団には、自営業者、会社員、公務員など、それぞれ自分の職業を持った地域住民の方々が入団しています。また、女性の消防団員も活躍しています。

消防団では、皆さんの力を求めています。あなたも消防団に入りませんか。関市消防団ホームページ (<http://www.city.seki.gifu.jp/shobo/>) もご覧ください。

照会先 危機管理課 ☎ 23-7736 関消防署 ☎ 23-0119

自衛隊幹部候補生・予備自衛官補・一般曹候補生募集

募集種目	予備自衛官補（第1回）		幹部候補生			一般曹候補生（第1回）
	一般	技術	一般・技術 (飛行要員含む)	歯科	薬剤科	
受付期限	4月6日(水) (必着)		5月6日(金) (必着)			
応募資格	平成23年7月1日の年齢		平成24年4月1日の年齢			
	18歳以上34歳未満の者	18歳以上で、保有技能に応じ、53歳～55歳未満の者	22歳以上26歳未満の者 ※20歳以上22歳未満は大卒者 ※修士学位取得者は28歳未満	専門の大卒者（見込み含む） 20歳以上30歳未満の者	専門の大卒者（見込み含む） 20歳以上26歳未満の者 (薬学修士学位取得者は28歳未満)	18歳以上27歳未満の者
試験期日	4月15日(金)～18日(月)のいずれか1日		5月14日(土) (飛行要員：15日(日)操縦適性検査)			5月21日(土)
試験会場	岐阜基地 (各務原市)	細部は問い合わせください	岐阜基地 (各務原市)			岐阜基地 (各務原市)
合格発表	5月20日(金)		陸上・海上：8月5日(金) 航空：9月6日(火)		8月5日(金)	8月5日(金)

申込・照会先 自衛隊美濃加茂地域事務所 ☎ 0574-25-7495

関市立篠田桃紅美術空間

桃紅とき



企画展 篠田桃紅芸術月間 — 2011 — 桃の栞

水と墨が織りなす詩 桃紅リトグラフ「green」

リトグラフは、水と油の反発を利用して刷る版画の一種です。篠田桃紅は1960年からこのリトグラフによる作品を制作し、これまでに1000点を超える作品を手掛けてきました。

桃紅はリトグラフでも、版となる石や金属板に筆を使つてかたちを描きま

す。そうして版の上に置かれたインクはゆつくりと乾いていきますが、乾くまでの間、インクは作者の意図とは関係なく、思いがけない動きを見せるといいます。しかし、桃紅はその様子を静かに見つめます。

「自分でかいたインクの動きを見守るのは、雲や鳥を眺めるように、のんびりできないが、版の上の水の動きは、半分は自然に任せたようなところがあるから、乾いた時に、美しい紋を

作つてくれるようにと、水に祈りながら見ている。『おもいのほかの』1985年 冬樹社

作品「green」は、淡いインクに含まれる水の繊細な動きがとても豊かに表

れている作品です。描いた時点からすでに自らの手を離れ、また水墨制作にはない刷りの工程を経ること、さらに意外なたちとなつて戻ってくる自らの作品との出会いを、桃紅はこのリトグラフの制作で楽しんでいます。

今回の企画展では、水墨作品とともにリトグラフ作品を展示しています。桃紅にとつて創造の領域を広げてくれる大切な表現のひとつであるリトグラフ。その魅力を紹介します。



図版掲載「green」
1993年リトグラフ

【関連イベント】

◆学芸員による解説会

▷日時 2月12日(土)、3月12日(土)

午後1時30分～【約40分】

▷場所 篠田桃紅美術空間・展示室

▷参加費 無料

※申し込み不要

◆版画ワークショップ「オモシロ版画にちょうせん！」

▷日時 3月5日(土) 午後1時～4時

▷場所 わかくさ・プラザ

「学習情報館2階・創作実習室」

▷対象 小学生以上

▷定員 20人

▷参加費 1,000円

▷申込方法 2月1日(火)～25日(金)にファクス

または電子メールにて、住所、氏名、郵便番号、

電話番号をご記入のうえ申し込みください。

☎23-7787 ✉seki-toko@city.seki.gifu.jp

◆企画展会期…3月27日(日)まで

◆入館料…高校生以上 300円、中学生以下無料

◆休館日…月曜日(休日を除く)、

休日の翌日(土・日・休日を除く)

◆開館時間…午前9時～午後4時30分

◆照会先…篠田桃紅美術空間(市役所7階)

☎23-7756

ひとひと 女と男

ともに自分らしく生きよう vol. 77

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について
今一度考えてみましょう

男女共同参画社会

内閣府の『仕事と生活の調和に関する意識調査』の一部を紹介します。

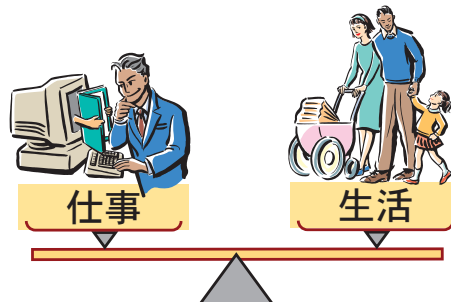
「生活の中での仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度」について、仕事は2.0%、家庭生活が18.5%、仕事と家庭生活が24.7%、仕事・家庭生活・地域個人の生活が30.7%といった結果が出ており、これらが心の中に潜む「希望」としての数値になります。しかし現実的には、仕事は48.6%、家庭生活が19.3%、仕事と家庭生活が11.5%、仕事・家庭生活・地域個人の生活が2.3%となっているのが調査結果として出ています。「生活の優先度」には、理想と現実の間に、このような大きなギャップがあります。

また、「ワーク・ライフ・バランスが実現された社会」に近づくためには、企業の取り組み方、職場内の意識、個人の仕事のやり方、国の制度の問題などという課題はありますが、「日ごろ、ワーク・ライフ・バランスのために努力をしているか」では、「努力している」が19.0%、「どちらともいえない」が37.3%、「努力していない」が43.8%となっています。このように、自分なりに努力している人が約2割という、非常に低い数値になっています。

企業の支援、制度の改革・整備は、当然必要ですが、個人が日ごろ身近なところでできること、例えば、自分の趣味の時間をとる、効率よく仕事をする、仕事の段取りを工夫するなどひとつずつ実行していくことも必要と考えます。

このようなことを考えながら自分の意識はどうか、今一度、整理整頓してみたいかがでしょうか。

さんかくサポーター<J>



<照会先> さんかくサポーター事務局 (まちづくり推進課内) ☎23-6831

関まつりに

参加しませんか

刀都・関の春を彩る恒例の「関まつり」を、4月16日(土)・17日(日)に盛大に開催します。左記の内容でパレードとあんどんみこしコンクールの出場者を募集しますので、自治会や子供会、事業所、同好会などの皆さん、奮ってご応募ください。

パレードの部

- 日時 4月16日(土) 午後2時～(予定)
- 場所 本町通り

あんどんみこしコンクールの部

- 日時 4月16日(土) 午後7時～
- 場所 本町通り (審査会場＝本町2交差点)
- 賞 特等ほか多数の賞あり

※雨天の場合、パレードは17日(日)まで順延、あんどんみこしコンクールは18日(月)まで順延

申込先

2月28日(月)までに

観光交流課 (☎ 23-7704 FAX 23-7741)

※申込書、詳細などは同課まで



「心に残る年賀状」展

日本の伝統的習慣である「年賀状」。この年賀状の交換を通してお互いの「絆」を確かめ、温かい人のつながりが今も続いています。

そうした年賀状の中で、受け取ってうれしかったり、思わずほほ笑んだりなど、市民の皆さんからお寄せいただいた今年の「心に残る年賀状」を次のとおり展示します。

期間・場所

▽2月1日(火)～2月15日(火)

わかくさ・プラザ「学習情報館・エントランスホール」

▽2月16日(水)～3月18日(金)

市役所1階・アトリウム

照会先

広報課 ☎ 23-6806



催し
講座
募集
相談
案内

お知らせ

催し もよおし

第5回わかくさまつり

「とびだせ！関のなかまたち」なんでも市民発表会」をテーマに、市の特産品の販売、フリーマーケット、音楽やダンスの発表など盛りだくさんのイベントです。みんなの熱気で寒さを吹き飛ばそう。

◆日時 2月13日(日)午前9時30分～午後3時30分

◆場所 市役所庁舎前・芝生広場

◆照会先 わかくさまつり実行委員会

・西村 (☎090・1987・4065 <http://magorook.com/>)

第38回 耳の日フェスティバル

◆日時 2月20日(日)午前9時30分～午後4時

◆場所 関市文化会館

◆内容 ▽午前11ふれあい広場(交流の場、模擬店、相談、実演) ▽午後11みんなのつどい(アトラクション・講演など)

◆照会先 (財)岐阜県聴覚障害者協会 (☎058・278・1301 FAX 058・274・1800)

食品加工体験

◆定員 各体験メニューとも20人(申し込み順)

◆場所・申込先 ふる里農園美の関 (☎251588)

◆体験メニュー

開催日時	体験メニュー	参加費
2月10日(木) 13:00～15:00	こんにゃく作り	1,000円
2月17日(木) 13:00～15:00	ひな寿司と甘酒作り	1,000円
2月21日(月) 13:00～15:00	イタリア料理	2,000円
持ち物：エプロン・三角きん		

まちかどウォッチング

せきガイドグループによる案内で、市内を歩きながら、ふるさとの歴史や文化を学びませんか。

◆期日 2月27日(日) ※小雨決行

◆集合時刻場所 午前8時30分までに市役所市民広場 ※申し込み不要

◆コース 市民広場→伊勢町→出来町→吾妻町→大門町→東門前町→吉田

町→美和町→伊勢町→安桜山トンネル→市民広場 ※正午ごろ解散

◆参加費 無料 ※参加費あり

◆照会先 せきガイドグループ・瀬織充 (☎23260 または ☎090・4797・3611)

第3回ひだ・みの創作オペラ「川霧の音」

◆日時 ▽2月26日(土)午後6時～▽2月27日(日)午後1時30分

◆場所 タウンホールとみか(富加町)

◆内容 富加町と中濃地域の昔話を題材にした創作オペラ三話「八百比丘尼」「狐の嫁入り」「べんづり様」

◆前売券 一般2000円(当日券2500円)、高校生以下1000円(当日券1500円)

※関市文化会館(☎2525)でも取り扱っています。

◆照会先 (財)岐阜県教育文化財団 (☎058・277・1139)

まちかど工房

催し物
あんない

〈ギャラリー〉 午前10時～午後6時

- ◎手編・手芸教室展
▷2月1日(火)～6日(日)
- ◎着付教室展
▷2月8日(火)～13日(日)
- ◎書道教室展
▷2月15日(火)～20日(日)

◆照会先 まちかど工房 (本町商店街事務局内 ☎24-8212)

岐阜県博物館のお知らせ

◆里山ウォッチング

植物の冬越しの様子を観察や、バードウウォッチングが楽しめます。

▽日時 2月16日(水)午前10時～正午

◆家族で冬の里山ウォッチング

シジュウカラ、エナガ、ルリビタキなどの小鳥やチョウゲンボウ、ノスリなどの猛禽類が観察できます。

▽日時 2月20日(日)午前10時～正午

◆集合場所 野山を歩ける服装で、午前10時までに百年公園北口駐車場

※当日受け付け
◆照会先 岐阜県博物館(☎3111)

エントランスホール作品展

わかくさ・プラザ「学習情報館1階・エントランスホール」

期 間	タイトル	展示内容
2月1日(火)～ 2月10日(水)	自然と楽老の写真展	写真の展示
2月11日(木)～ 2月22日(火)	心と心を結ぶ絵てがみ展	絵てがみの展示
2月24日(木)～ 3月4日(金)	関商工美術展	絵画の展示
◆休館日 月曜日(休日を除く)、休日の翌日(土・日・休日を除く)		
◆照会先 生涯学習課 (☎23-7777)		

ふれあい・いきいきサロン
研修会

市内各地で開かれている「ふれあい・いきいきサロン」活動の研修です。

◆日時 2月17日(木)午後1時30分～5時

◆場所 わかくさ・プラザ「総合福祉会館3階・会議室」

◆内容 ▽事例発表「きずな会(可児市) ▽介護予防の講義と実技(中央地域包括支援センター) ▽健康表現体操および音体療育(塚田恭子さん)(NPO法人全日本健康音楽研究会岐阜県支部)

◆定員 60人(申し込み順)

◆参加費 無料

◆申込先 関市社会福祉協議会(☎20372)

健康講演会

最新の脳科学から学ぶ、日常で脳が育つための生活術を公開します。

◆日時 2月26日(土)午後6時30分～8時

◆場所 わかくさ・プラザ「学習情報館・多目的ホール」

◆内容 講演「脳が変われば未来が変わる！」講師「篠原菊紀さん(諏訪東京理科大学教授)」

◆定員 350人(整理券が必要。整理券は関市保健センターで配布します。)

◆参加費 無料

◆照会先 市民健康課(☎201111)(☎236757)

講座
こころ

「日本刀入門」講座

日本刀の歴史や魅力について、やさしく学べる講座です。

◆日時・内容

▽1日目 2月27日(日)「日本刀について」愛刀会

▽2日目 3月6日(日)「日本刀の作りについて」(古式日本刀鍛錬の実演見学) 刀匠会

▽3日目 3月13日(日)「日本刀の研磨・外装について」技能会

※いずれも、午後1時30分～3時

◆場所 関鍛冶伝承館

◆受講資格 高校生以上で日本刀に興味がある方

◆定員 20人(申し込み順)

◆受講料 無料

◆主催 関伝日本刀鍛錬技術保存会

◆申込・照会先 2月1日(火)から電話で文化課(☎26455)

合気道教室

◆日時 2月16日～3月23日の毎週水曜日 午後8時～9時(全6回)

◆場所 わかくさ・プラザ「総合体育館・武道場」

◆対象 高校生以上で市内在住、在勤または在学の新入生の方

◆定員 20人

◆講師 小瀬木周司さん(合気道五段) ◆受講料 3000円(保険料含む)

◆服装 運動のできる服装

◆申込先 2月14日(月)までに関合気道クラブ・片岡守昌(☎090・8334・7814)

ヘルシー栄養教室

◆日時 2月18日(金)午前10時～午後1時

◆場所 関市保健センター

◆内容 メタボ予防の話と簡単にできるバランスメニューの調理実習

◆対象 市内在住の64歳以下の方

◆定員 30人

◆受講料 無料

◆持ち物 エプロン、三角きん(パンダなど)

◆申込先 関市保健センター(☎20111)(☎236757)

募集
ぼしゅう

自動販売機設置業者

◆申込期間 2月7日(月)～16日(水)

◆設置箇所 市役所などの市の施設

◆設置業者の決定 原則、最高の応募価格の者となります。

◆申込先 応募申込書に必要書類を添えて総務管財課(☎238122)まで提出

※募集要領・応募申込書は、市ホームページまたは募集施設、総務管財課にあります。

「市長とワイワイ談議」開催

市民の皆さんと尾藤市長が、市政全般についての意見交換をし、いろいろな問題について気軽に語り合うために開催します。開催の各地区にお住まいの方ならどなたでもご自由に参加できますので、多数ご参加ください。

◆日時 2月8日(火) 午後7時～
◆場所 下白金公民センター◆日時 2月18日(金) 午後7時～
◆場所 倉知ふれあいセンター◆日時 2月15日(火) 午後7時30分～
◆場所 田原ふれあいセンター◆日時 2月23日(水) 午後7時～
◆場所 千疋ふれあいセンター◆日時 2月17日(木) 午後7時～
◆場所 保戸島公民センター※申し込みは不要です。直接会場にお越しください。
◆照会先 広報課(☎23-6806 ☎23-7744)

日々雇用職員

高齢者介護に理解のある方で、入所の生活を支援する職員を募集します。

◆募集人数 1人

◆勤務場所 養護老人ホーム松風園
(下有知)

◆採用日 平成23年4月1日

◆勤務時間 午後5時15分～翌朝9時
15分のうち7時間45分

◆業務内容 夜間の介護支援事業

◆待遇 1回8750円(諸手当なし)

◆採用方法 面接にて決定

◆申込・照会先 関市社会福祉事業団
(☎244190)

案内

あんない

中濃駅伝大会にご協力を

2月13日(日)午前9時40分ごろから10時40分ごろまで、選手が市内の道路を通過しますので、ご声援とご協力をお願いします。

◆通過区間 下有知追分～関有知高校

～関市役所～宮地町交差点付近～J

Aめぐみの富岡支店

◆照会先 スポーツ振興課(☎237766)
(FAX237765)

チャイルドシート 貸出事業の終了

市が実施しているチャイルドシート貸出事業を3月31日で終了します。

この事業は、チャイルドシートの普及・啓発を推進し、自動車に同乗する乳幼児の安全確保を図る目的で実施してきました。道路交通法が改正され、チャイルドシートの使用が義務付けられた平成12年4月から11年が経過して、民間事業者でもレンタルサービスが普及していることも含め、当初の目的が達成されたものと考えられることから、貸出終了とします。

◆照会先 危機管理課(☎237736)
(FAX237748)

平成22年度 交付金事業の実績

電源立地地域対策交付金(交付金額1140万円)により、次の事業を実施しました。

●洞戸小学校体育館等改修工事
(事業費 2440万2000円)



◆照会先 まちづくり推進課(☎237711)
(FAX237744)

工業統計調査にご協力 ありがとうございました

工業統計調査および岐阜県輸出関係調査の結果は、さまざまな行政施策の基

礎資料や企業・大学での研究資料として利用されるほか、経済産業省のホームページ(www.meti.go.jp/statistics/)などで公表される予定です。

◆照会先 企画政策課(☎26876)
(FAX237744)

石綿関連疾患に係る 労災保険給付

石綿関連疾患に係る労災保険給付金制度、特に特別遺族給付金は、請求期限が平成24年3月27日までとなっています。詳細は、厚生労働省ホームページ「石綿情報」をご覧ください。当課までお問い合わせください。

◆照会先 岐阜労働局労働基準部労災補償課(☎058・245・8105)

119番位置情報システム

中濃消防組合では、自宅の電話やIP電話、携帯電話から119番通報を受信した時、通報している電話の位置情報が分かるシステムを導入します。

これにより、通報中に急に病状が悪化して話せなくなったり、自分のいる場所が分からない場合でも、消防本部の電子地図に通報の発信位置を表示することができ、通報から出動までの時間短縮につながります。

ただし、電波の状態などによって正確な位置が特定できない場合があり、今までと同じように住所や目標物などを尋ねる場合があります。

※このシステムは、2月から試験運用を始め、4月1日から正式に運用を

開始します。

◆照会先 中濃消防組合指令課(☎0119)
(FAX23595)

最低賃金改正

岐阜県最低賃金が平成22年10月17日から時間額706円に改正されています。

この最低賃金は県内の事業場に働くすべての労働者に適用されます。ただし、一部の産業には、別表のとおり岐阜県最低賃金より高い特定(産業別)最低賃金が設定されています。

◆照会先 岐阜労働局賃金室(☎058・245・8104)、関労働基準監督署(☎23251)

地域別最低賃金	時間額	効力発生日
岐阜県最低賃金	706円	平成22年10月17日

産業別最低賃金	時間額	日額	効力発生日
陶磁器・同関連製品、耐火物製造業	714円	5,708円	平成10年12月25日
電子部品・デバイス・電子回路・電気機械器具、情報通信機械器具製造業	777円	—	平成22年12月17日
自動車・同附属品製造業	815円	—	平成22年12月17日
航空機・同附属品製造業	865円	—	平成22年12月17日

関市コンピュータ講座 受講者募集	No	講座名	主な内容・対象	定員	開講日時	受講料
	29	はじめてのパソコン 6 時間	内容：パソコンの基本操作、マウスやキーボードの使い方を学ぶ。 対象：パソコンをはじめて使う方。	30人	3/6(日) 9:30～16:30 (1時間昼食 休憩あり)	1,500円
	30	Word 2007 入門 6 時間	内容：Word の基本操作。簡単な文書の編集や表の作成を学ぶ。 対象：Word 初心者でパソコンの使用経験のある方。	30人	3/12(土) 9:30～16:30 (1時間昼食 休憩あり)	1,500円
	31	Excel 2007 入門 6 時間	内容：Excel の基本操作。簡単な表計算機能やグラフの作成を学ぶ。 対象：Excel 初心者でパソコンの使用経験のある方。	27人	3/13(日) 9:30～16:30 (1時間昼食 休憩あり)	1,500円

◆受講資格 市内在住または在勤の方
◆場所 わかくさ・プラザ「学習情報館3階・パソコン研修室」
◆使用ソフト マイクロソフト WindowsXP Internet Explorer7 Office2007
◆応募方法 はがきに、講座番号と講座名、郵便番号、住所、氏名、ふりがな、性別、電話番号、市外の方で市内に勤務されている場合は勤務先を記入して、〒501-3802 若草通2-1 まなびセンターへ送付。1講座につき1人1枚に限り、電話での申し込みはできません。また、まなびセンター窓口でも所定の用紙に記入して申し込みすることができます。

◆応募期限 2月16日(水) 必着
◆抽選 申し込み多数の場合は、2月18日(金) 午前9時から、学習情報館3階コスモホール前にて公開抽選を行い、受講者を決定します。(公開抽選への参加が抽選結果に影響することはありません。)なお、申し込みいただいた方全員にはがきにて抽選結果を通知します。

◆照会先 まなびセンター (☎ 23-7760) ※月曜日、祝日の翌日は休館

大切な子供を守る あなたの目

子ども見守り運動キャンペーン標語

岐阜エフエム 80.0MHz
「シティ インフォメーション」

毎週金曜日 午前9時～

2/4 「第5回わかくさま祭り」

2/11 「心に残る年賀状展」

ぎふチャン 岐阜ラジオ1431kHz
「関市の時間」

毎月第1・3水曜日 午前9時40分～

2/2 「第5回わかくさま祭り」

ケーブルテレビ・
チャンネル長良川あすつく
明日を創る関のまち2月号放送時間
毎週月・水・金・日曜日
午前11時45分～
毎週火・木・土曜日
午後8時45分～

放送内容

「新成人に聞く(仮)」

今年の新成人にハタチの決意と将来について語っていただきます。

見守り
新鮮情報「新規開店」「景品」に
つられ温熱器を買わされた

自宅に男が「近くに介護用品の店を新しく開くので話を聞いて」と訪ねてきた。外に出ると近所の人も集まり、ふきんなどをもらった。さらに「別の場所へ行けばもっとよいものを渡す」と、1キロ先の民家に車で連れて行かれた。戸が閉められ営業員数人が後ろに並び、帰れない雰囲気になった。景品をもらった後、湯治で有名な温泉の話が始まった。「その湯の花と同じ成分が入った温熱器を使えば、足腰の痛みが取れる」と繰り返し説明され、23万円もする温熱器を契約してしまった。

(独)国民生活センター「見守り新鮮情報」より

ひとこと助言

- 「新規開店の宣伝」を口実に声をかけ、「タダでものをあげる」と車で遠くの会場に連れて行き、いろいろなものを配ります。得した気分させ、周りの雰囲気巻き込むようにし、最後に高額な商品を買わせる商法です。
- 「格安」「無料配布」で誘われても、安易に会場に行かないことです。
- クーリング・オフできるケースもありますので、早めに関市消費生活相談室などにご相談ください。

相談先 関市消費生活相談室(商工課内) ☎ 23-6752

2月の主な行事

日	会場	催し物	開演(会)時刻
12日(土) 13日(日)	第2～6 会議室 第1～3 個展室	第60回関市子ども美術展	午前9時30分
20日(日)	大ホール 小ホール	(社)岐阜県聴覚障害者協会 第38回耳の日フェスティバル	午前9時30分
26日(土) 27日(日)	第2～6 会議室 第1～3 個展室	MOA美術館児童作品展中濃地域展	午後1時 (27日9時～)

※行事・日時など一部変更されることがあります。

前売日
2月10日(木)

市民の劇場

洞戸ほほえみ寄席

3月13日(日)

開演 午後2時
(開場 午後1時30分)

1回公演

場所:

関市洞戸基幹集落センター

全席指定

【入場料(税込)】

前売券 1,500円

当日券 2,000円

図書館

☎ 24-2529
若草通2丁目

2月の休館日 1日(火)～4日(金)、7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)

休館のお知らせ

2月1日(火)～4日(金)までは蔵書点検のため休館します。本の返却はブックポストをお願いします。

※ビデオ・CD・DVDは傷みやすいため、図書館内にいる職員に手渡しでご返却ください。

図書館イベント参加者募集

お申し込みは、図書館カウンターまたは
電話またはFAXにてお待ちしております。『大きな声で
～声にだして読もう！ステップ②～』

日時 2月20日(日) 午前10時～11時
場所 わかくさ・プラザ「学習情報館2階・音楽室」
講師 かみふうせん
対象 小学4～6年生
内容 大きな声を出したり、みんなの前で話したりするのは苦手だなと感じていたらぜひ参加してください。文章の読み方を学びます。

2月のおはなし会

- 期 日 5日(土)・6日(日)・12日(土)・13日(日)・19日(土)・20日(日)・26日(土)・27日(日)
- 時 間 午後2時～3時
- 場 所 関市立図書館内「おはなしコーナー」
- 読み手 土曜日：おはなし広場「どんぐり」
日曜日：かみふうせん

『おはなしのじかん』

日時 2月23日(水) 午前11時～11時30分
場所 図書館内「おはなしコーナー」
読み手 図書館スタッフ
対象 幼児と保護者
内容 絵本や紙芝居の読み語りを聞いたり、手遊びをしたりしながら、家族みんなで楽しい時間を過ごしましょう。

『標本をつくろう』

日時 2月27日(日) 午後1時30分～3時30分
場所 わかくさ・プラザ「学習情報館2階・創作実習室」
講師 東啓一さん
定員 15組30人 ※申し込み順
対象 小学生と保護者
内容 透けて見える葉っぱの「葉脈標本」や、岩塩から「塩の結晶標本」をつくります。

CLOSE UP 県政 CLOSE UP

空飛ぶ救命室「ドクターヘリ」
まもなく運用を開始します！

ドクターヘリは、医師と看護師が搭乗していち早い治療の開始を実現する、救急医療専用のヘリコプターです。



ドクターヘリ

治療開始までの時間や医療機関への搬送時間を短縮することで、患者の救命率の向上や後遺症の軽減などを図ることを

目的としており、基地病院に常駐します。

県の基地病院を岐阜大学医学部附属病院とし、ドクターヘリを安全・円滑に運用するため、現在、県内各消防本部と共同して訓練を実施しています。県土が広大で山間地域も多い岐阜県で皆さんの大切な命を守るため、まもなく運用を開始します。

問 医療整備課 ☎058(272)8269

^{じゅうとく}
重篤救急患者を救う「最後のとりで」
救命救急センターを支援しています

救命救急センターは、生命が危険な状態にある救急患者を24時間体制で受け入れる施設で、県内に5カ所あります。また、広範囲熱傷など特殊な疾病にも対応する高度救命救急センターが岐阜市内にあります。

県では、皆さんがいざというときに安心できるよう、救命救急医療の体制確保に努めています。

問 医療整備課 ☎058(272)8267

救命救急センター

県総合医療センター(岐阜市)
大垣市民病院(大垣市)
厚生連中濃厚生病院(関市)
県立多治見病院(多治見市)
高山赤十字病院(高山市)

高度救命救急センター

岐阜大学医学部附属病院
(岐阜市)

ご存知ですか？小児の慢性特定疾患への支援

小児のがんや糖尿病など治療が長期にわたる特定の慢性疾患の治療費の一部を負担する「小児慢性特定疾患治療研究事業」があります。

- ▶対象疾患／白血病、糖尿病や血友病など国が定める514疾病
- ▶対象者／県内に住所を有する18歳未満の方(認定審査があります)
- ▶認定期間／1年ごとで、毎年更新が必要。
- ▶申請／医療意見書、住民票などの必要書類を添え県内各保健所へ

問 県内各保健所 または保健医療課 ☎058(272)8276

おしらせ
看護師・看護補助者希望者向け
就労支援

就労しながら必要な研修を受講できます。また、研修期間中についても給与を支給します。

- ▶対象／県内医療機関に就業を希望する未就業者
- ▶資格・募集人員／
- ①看護師・准看護師 70人
- ②看護補助者(資格不要) 25人
- ▶受付／随時(先着順)
- ▶申込先・問／岐阜県ナースセンター
☎058(277)1010

相談
福祉の仕事就職総合フェア

福祉の仕事に就きたい方を対象に、就職セミナーおよび就職合同説明会を開催します。

- ※申込不要・無料
- ▶とき／2月13日(日)
- [就職セミナー] 12:00～13:30
- [就職合同説明会] 13:00～16:00
- ▶ところ／岐阜市文化センター
- ▶問／岐阜県福祉人材総合対策センター
(県社会福祉協議会)
☎058(276)2510

相談
就農・就業相談会
「ぎふアグリチャレンジフェア11」

新たに就農を考えている方を対象とした個別面談方式の相談会を開催します。 ※申込不要・無料

- 可児会場／可児市文化創造センター
2月20日(日)
- 高山会場／高山市民文化会館
2月27日(日)
- 岐阜会場／県民ふれあい会館(岐阜市)
3月13日(日)
- いずれも 10:30～15:30
- ▶問／農業振興課 ☎058(272)8421

募集
岐阜県食品表示ウォッチャー

県内の小売店で不適正な食品表示を見つけた際、県へ報告していただきます。事前に食品表示に関する研修があります。

- ▶活動期間／6月～平成24年2月末
- ▶応募資格／県内在住20歳以上の方
- ▶定員／130人(新規申込者優先)
- ▶受付／2月1日(火)～4月8日(金)
(当日消印有効)
- ▶申込方法／応募用紙に必要事項を記入し、郵送、FAXまたはメールで申込先へ。(応募用紙は生活衛生課、各県保健所・センター、ホームページで入手)

岐阜県食品表示

Web 検索

- ▶申込先・問／生活衛生課
☎058(272)8284
〒500-8570(住所不要)

おしらせ
グリーンジャンボ宝くじの
購入は岐阜県内で!!

みなさんが県内で購入された宝くじの販売額のうち、約40%が県の収入となり、市町村振興や高齢化・少子化施策など、身近なところで役立てられています。宝くじはぜひ県内で求めください。

- ▶発売期間/2月14日(月)～3月8日(火)
- ▶当せん金/1等1億5千万円(17本)、2等1千万円(170本)
- ▶問／財政課 ☎058(272)1130

おしらせ
子ども・三世代交流
フェスティバル

生涯学習活動への関心を高めていただくため、行政、NPO・ボランティア団体が連携して、工作や実験などの体験コーナー、ボランティア団体の展示・相談コーナーなど、子どもから大人まで様々な世代が学び、楽しめる体験型イベントを開催します。

- ▶とき／2月26日(土) 10:00～15:00
- ▶ところ／県民ふれあい会館(岐阜市)
- ▶参加費／無料(材料費実費)
- ▶問／人づくり文化課
☎058(272)8245



●県の人口／2,077,617人 ●世帯数 732,942 世帯
男／1,006,017人
女／1,071,600人
※平成22年9月1日現在

最新の人口は、平成22年国勢調査の結果公表後、更新します。



PICK UP EVENT

ミュージカル

Good Morning Star Prince !

飛騨・世界生活文化センター

県民の出演による飛騨センターオリジナルのミュージカル公演です。

- ▶とき／2月20日(日)▶定員／1,000人
- ▶料金／大人1,000円、中高生500円、小学生以下無料
- ▶問／飛騨・世界生活文化センター
☎0577(37)6111 高山市千島町900-1

体験講座

ひなさま団子を作しましょう

南ひだ健康道場

緑豊かな里山の古民家を改装した体験施設で、3月3日のひな祭りに向け、3色のひなさま団子をつくります。 ※要申込

- ▶日時／2月27日(日) 10:00～12:00
- ▶料金／600円 ▶定員／24人(先着順)
- ▶申込先・問／南ひだ健康道場
☎0576-55-0010 下呂市萩原町四美1557-3

岐阜県図書館

岐阜市宇佐4の1の21
☎058(275)5111
休／月曜日(祝日の場合は翌平日)
開館時間／
火曜から金曜 10:00～20:00
土・日曜・祝日 10:00～18:00

岐阜県博物館

関市小屋名1989(百年公園内)
☎0575(28)3111
休／月曜日(祝日の場合は翌平日)
開館時間／
3月まで 9:30～16:30
4月から 9:00～16:30

岐阜県美術館

岐阜市宇佐4の1の22
☎058(271)1313
休／月曜日(祝日の場合は翌平日)
開館時間／10:00～18:00

おはなし会(3月)

※申込不要・無料

- 幼児・小学校低学年対象／
3月6日(日)・20日(日) 11:00～11:30
- 乳幼児対象／3月10日(木) 11:00～11:30
- 小学生対象／3月12日(土) 14:00～14:30

英語などのおはなし会(3月)

3月6日(日) 14:00～14:30 ※申込不要・無料

資料紹介展「鉄道沿線～光と陰～」

岐阜県の鉄道の歩みと、鉄道が近代化に果たした役割を紹介します。
3月8日(火)～4月10日(日)
一般320円、大学生110円、高校生以下無料
※リニューアル工事のため、2月21日(月)まで臨時休館となります。

「伊藤慶二・林武史」展
こころの尺度 石の舞・土の宴

土岐市出身の伊藤慶二はやきものによる立体造形を手がけてきた第一人者です。岐阜市出身の林武史は石によるスケールの大きな彫刻で知られます。素材も表現も異なる二人の作家によって創り出される「場」を紹介します。
一般800円、大学生600円、高校生以下無料

※県立の博物館、美術館、高山陣屋、花フェスタ記念公園は高校生以下の観覧料・入館料が無料。

国体・大会に参加して感動を分かちあいましょ！

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会
ボランティア募集！

▶活動内容／①運営ボランティア：各会場での案内、会場美化など②情報支援ボランティア：手話、

要約筆記(手書き・パソコン)での情報提供や聴覚障がい者支援

▶活動期間／平成24年6月2・3日、9月28日～10月9日、10月12日～15日 ※1日単位で参加可

▶活動場所／ぎふ清流国体・ぎふ清流大会開・閉会式会場(岐阜メモリアルセンター) およびぎふ清流大会競技会場、主要駅案内所など

▶申込方法／所定の申込書に必要事項を記入し、郵送またはFAXで申込先へ。(申込書は国体推進局および各市町村の国体担当課で配布、またはホームページからも入手できます)

▶受付期間／2月1日(火)から随時

※情報支援ボランティアは平成23年5月末まで

▶申込先・問／国体推進局総務企画課

☎058(272)8809 FAX 058(278)2604 〒500-8570(住所不要)

ぎふ清流国体

Web 検索



見て

聴いて

ぎふ



テレビ

岐阜放送

○ぎふ・オンライン

…… 第1・第3水曜日 18:00～18:15

○ぎふ県だより

…… 月曜日 22:57～22:59

…… 木曜日 21:57～21:59

○ぎふ県政フラッシュ

…… 火曜日 21:54～21:56

ラジオ

岐阜エフエム

○GIFU インフォメーション

…… 月～木曜日 8:20～8:25

○県政ファイル …… 金曜日 8:20～8:28

○ほっとぬくもり岐阜 …… 土曜日 9:00～9:30



県立華陽フロンティア高校
平成23年度通信制課程入試

▶試験日／4月4日(月)▶願書配布／3月28日(月)まで▶受付期間／3月8日(火)～28日(月)

○学校説明会開催のお知らせ ※要申込

▶とき／2月13日(日)・21日(月)・24日(木)いずれも14:00～16:00▶ところ／華陽フロンティア高校

▶申込先・問／華陽フロンティア高校 ☎058(275)7185



県立飛騨高山高校
平成23年度通信制課程入試

▶試験日／3月29日(火)▶願書配布／3月28日(月)まで▶受付期間／3月2日(水)～28日(月)

○学校説明会開催のお知らせ ※要申込

▶とき／2月13日(日) 13:20～14:20

▶ところ／飛騨高山高校(岡本校舎)

▶申込先・問／飛騨高山高校 ☎0577(32)6013

県の政策・制度等(案)について、皆さんのご意見をお聞かせください。

意見募集
パブリックコメント

※募集開始に合わせて、内容をホームページに掲載します。

岐阜県意見募集

Web 検索

●平成23年度岐阜県

食品衛生監視指導計画(案)

問／生活衛生課 ☎058(272)8280

●岐阜県果樹農業振興計画(案)

問／農産園芸課 ☎058(272)8436

●第9次 岐阜県交通安全計画(案)

問／環境生活政策課 ☎058(272)8205

●高山都市計画区域マスタープラン(改定案)

問／都市政策課 ☎058(272)8648

岐阜県庁ホームページ



イベント・試験などの情報は、県庁ホームページの「イベント・お知らせ」をクリックしてください。
※テレビぎふチャン(8ch)の地デジ・データ放送でもご覧いただけます。

携帯はこちら



関の「顔」が 勢ぞろい



白装束に身を包んだ刀匠、振り袖姿のせき親善大使、卯年に「関＊はもみん」…。刀都・関に新年を告げる「古式日本刀鍛錬打ち初め式」を前に、刀匠ゆかりの春日神社で、今年の盛業と安全を願う神事に

関係者が集合しました。関市のPRになくてはならない3組です。今年も関市のよいところを全国に向けて発信し、広く知っていただけるよう活躍をよろしく願いいたします。

あんな事、こんな事



地元畜産物で料理講習

飛騨牛や奥美濃古地鶏、美濃ヘルシーポークなどを使った料理作りの講習会が開かれました。中濃地域畜産振興会が県銘柄畜産物のおいしさなどについて料理講習を通じて積極的にPRすることにより、その消費を拡大・促進する目的で開催されたものです。出来上がった料理を全員で試食すると「自宅でも試したい」との声が上がりました。安全で安心、健康な地元畜産物をたくさん使って、地産地消を目指します。

園児、もちつきに挑戦

旭ヶ丘幼稚園で、新年恒例の「もちつき大会」があり、園児が威勢よく杵を振っていました。同園では、つきたてのお餅をいただく喜びと食に対する感謝の気持ちを育てようと毎年開催。大人の人に手を添えてもらいながら順番に杵を振り下ろすと、周りで見守っている園児らが「ぺったん、ぺったん」と元気いっぱい掛け声を響かせていました。つきたてをきなこ餅、あんこ餅にしてみんなで頬ばると、園児の笑顔が広がりました。





保育園で南京玉すだれの妙技

市内の幼稚園や老人ホームなどで20年以上にわたって「南京玉すだれ」を披露する活動をしている安田和代さん(貸上町)の芸を富野保育園児が観賞しました。安田さんは「しだれ柳」や「日米国旗」など変幻自在の技を次々と見せていき、園児たちを驚かせていました。園児たちはすだれに実際に触れて、一直線に伸ばすと、嬉しそうに高々と掲げていました。

わが地域の相談役

多年にわたり人権擁護委員を務め、昨年いっぱい退任された長尾ふき子さん(富之保)と平田公二さん(小瀬)の2人へ法務大臣感謝状が贈られました。任期中は小中学校に足を運び、いじめ問題の紙芝居の上演をされるなど、市民の人権の擁護と人権思想の普及活動に多大な貢献をされ、その功績がたたえられました。その経験を生かし相談および啓発活動にも尽力され、市民の福祉向上にも貢献されました。



土佐の国からはるばる取材

中濃厚生病院は、化石燃料に代わるバイオマスを活用した冷暖房システム「木質ペレット焚き吸収式冷温水機」を導入し稼働を始めました。これに、木質バイオマスの利用が進んでいる高知県(梶原町など)から、高知放送局が取材に来関。木材を固形燃料化して冷暖房につなげる取り組みが全国にも広がっています。併せて市内の街並みも取材され、遠い地で「関市」を知っていただく機会となりました。

見事命中！楽しく雪合戦

1月16日から17日にかけて、市内の平野部でも激しい降雪に見舞われました。西部保育園の園児たちは、本格的な積雪に「雪だ～、冷た～い」と大喜び。全員で園庭に出て、雪だるまやかまくらを作って楽しみました。さらに、手でぎゅっと握って丸めた雪を投げ合って雪合戦もしました。元気いっぱい歓声を上げながら、笑顔で駆け回っていました。



こぼれ話



先日、取材で関市消防団の出初式に行きました。式典では「住宅などの火災は依然として後を絶たず、台風、ゲリラ豪雨による風水害など災害が複雑多様化の傾向にあり、消防団の皆さんには地域防災の要として、大きな期待が寄せられています。団員の減少傾向が続いている状況ですが、不測の事態に備え、皆さんとともに、一丸となって精一杯活動していきたい」という大変心強い消防団長の訓示があり、消防団の皆さんが、関市の安全・安心を守って

くれているのだと改めて感じました。

式典のあと、稲口・津保川河畔では85台の車両からの一斉放水と、岐阜県防災ヘリコプターの「若鮎」の祝賀飛行があり、私が消防団に所属していた時にはできなかった放水演習の全景を見ることができました。

皆さんも消防団へ入団し「安全・安心なまちづくり」に一役買ってみませんか。詳しくは、関市役所危機管理課まで(☎ 23-7736)。関市消防団のホームページ(<http://www.city.seki.gifu.jp/shobo/>)もありますので、ぜひご覧ください。

⑬ 日竜峯寺本堂

(岐阜県重要文化財 下之保)

日竜峯寺の本堂は山腹の斜面地に建てられており、京都の清水寺と同様の懸造りをもつことから「美濃の清水」と呼ばれ、市民から親しまれています。南に面して建ち、大きさは間口6間、奥行5間、一重の入母屋造りで、屋根は檜皮葺です。正確な創建年代はわかりませんが、高欄の擬宝珠に「延宝二年」(1674年)の銘があることから、この頃に建てられたものではないかと考えられています。



関の文化財探訪

その 8

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎46-2313

⑬⑭



⑭ 日竜峯寺宮殿

(岐阜県重要文化財 下之保)

本堂の厨子である宮殿には本尊の千手観音菩薩立像が祀られています。宮殿は間口1間、奥行1間の禅宗様です。入母屋造りで、屋根はこけら葺となっています。全体が極彩色に塗られていて、現在も鮮やかに残っています。築造年代は棟札から天文3年(1534年)に造られたことがわかっていて、本堂よりも古く、日竜峯寺の創建年代を考える上で非常に重要な建物といえます。

豆知識

禅宗様——鎌倉時代に中国の宋から禅宗と共に伝わった仏教建築様式のこと、屋根の軒の反りが大きいことなどが特徴です。

【アクセス】

関市自主運行バス・岐阜バス「高沢観音口」下車、徒歩30分
東海環状自動車道富加関 IC から主要地方道関金山線を車で20分